

I. 神奈川県内 a. 関東ローム層

(1) 鴨沢ローム層 模式露頭剥ぎ取り標本

標本番号 KPM-NP 6

標本名 鴨沢ローム層 模式露頭剥ぎ取り標本

大きさ 幅 1.35 m, 高さ 3.65 m

重量 26.7 kg

形状・展示・収納状況 薄い絨毯状、短辺を軸として
巻いて大型移動棚に収蔵

採集地 神奈川県足柄上郡中井町鴨沢

緯度・経度 N35°19'34", E139°11'57"

標高 84 m

露頭の種別と現状 柄沢沿いの自然露頭、現存

露頭面の向き、傾斜 N-S、75°W

堆積物の種別 降下テフラ（陸成層）

年代 350 ka 前後（TE-5、町田・新井、2003）

採集作業者 森山哲和（考古造形研究所）

採集立会い者 笠間友博、山下浩之

採集日 2004年7月7日

関連文献等

笠間友博・山下浩之（2008）地層剥ぎ取り手法による箱根火山起源テフラの記載：TCu-1, Km-3, TP, 鴨沢ローム層. 神奈川県立博物館研究報告（自然科学）, (37): 23-30.

神奈川県立生命の星・地球博物館（2008）「特別展 図録 箱根火山～いま証される噴火の歴史～」p.72-73.

町田 洋・新井房夫・村田明美・袴田和夫, 1974. 南関東における第四紀中期のテフラの対比とそれに基づく編年. 地学雑誌, 83: 22-58.

解説 標本は、町田ほか（1974）の鴨沢ローム層模式地で採取した。以下、笠間・山下（2008）による。Ka-a～d（柄沢-a～d）は仮称。

i) TII-10（層厚約 20 cm）

灰黒色の降下スコリア層（スコリア最大粒径約 4 cm）である。上下にもそれぞれ別の降下スコリア層があり、上位のものは層厚約 8 cm, 最大粒径約 5 mm の灰黒色スコリア層（Ka-d）、下位には TE-5 の直上付近に粒径 2 mm 程度の黒色スコリアがレンズ状に途切れながら連なる（Ka-c）。この黒色スコリアと TII-10 の間にも最大粒径約 1 cm の灰黒色スコリアが密集する部分がある（Ka-b）。

ii) TE-5（TII-9）（層厚約 25 cm）

灰白色の降下火山灰層（TE-5a、TII-9 下部）と上部に散在する白色降下軽石（TE-5b、TII-9 上部、最大粒径約 5 mm）からなる。同様の層相は神奈川県東部の多摩丘陵でもみられる。町田・新井（2003）は前者を飛騨山脈にあった火山起源、後者は八ヶ岳起源とし、中部～関東地方にかけて分布するとしている。

iii) TE-4（TII-8）（層厚約 20 cm）

黄色の降下軽石層（軽石最大粒径約 5 cm）である。スコリア質テフラが多い中で、TE-5（TII-9）とともによく目立つ特徴的なテフラである。このテフラの上

位は約 50 cm の幅で最大粒径約 2 cm のスコリアが密集する火山灰土となっている。この部分は、TE-4（TII-8）とは別の降下スコリアの活動と考え ka-a とした。

iv) TII-7（層厚約 80 cm）

下部の褐色降下スコリア層、中部の青灰色降下スコリア層、上部の黒色降下火山灰層からなる。この組み合わせは神奈川県東部の多摩丘陵でも同じである。鴨沢では上部の黒色火山灰層中には最大粒径約 4 cm の黒色スコリアを含み、この部分がもっとも粗粒である。

v) TE-3（TII-6）（層厚 25 cm, 最大粒径 3 cm）

黄白色と灰色の軽石からなる降下テフラで、上部は細粒化し、最上部に黒色スコリア層がある。このテフラも TII-7 の直下にある白色軽石層として多摩丘陵で確認できる。

vi) TII-5（層厚約 20 cm）

灰色降下スコリア層（最大粒径約 1 cm）。標本では最下部に一部が採集されている。

記録者 笠間友博

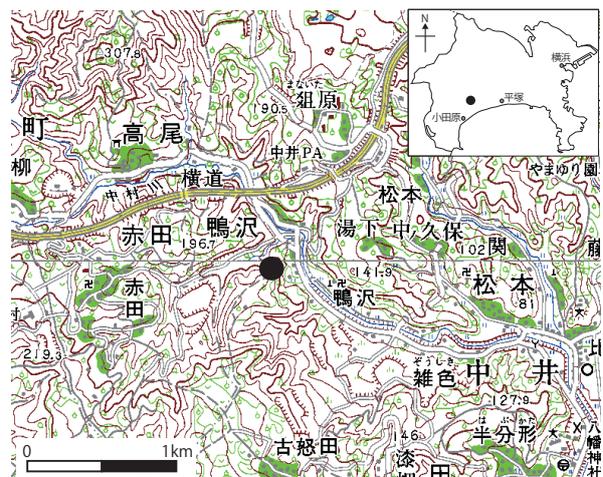


図 1a-1-1. 採集地点（国土地理院発行の数値地図 50,000（地図画像）「埼玉・東京・神奈川」を使用）。



図 1a-1-2. 剥ぎ取り標本の採集露頭。



図 Ia-1-3. 剥ぎ取り標本の採集の様子.

【本文及び図のテフラ記号】

Hk-TP などの表記は町田・新井 (1992)、TAm-1 などの表記は町田ほか (1974)、Tu-1 などの表記は上杉 (1976) による。

町田 洋・新井房夫, 1992. 火山灰アトラス. 276 pp. 東京大学出版会, 東京.

町田 洋・新井房夫, 2003. 新編火山灰アトラス. 336 pp. 東京大学出版会, 東京.

町田 洋・新井房夫・村田明美・袴田和夫, 1974. 南関東における第四紀中期のテフラの対比とそれに基づく編年. 地学雑誌, **83**: 22-58.

上杉 陽, 1976. 大磯丘陵のテフラ. 関東の四紀, (3): 28-37.

【スケッチの凡例】

P.: 軽石、Sc.: スコリア、L.: 岩片、v.S.: 火山砂、A.: 火山灰 (シルトサイズ以下のものを含む)、w.: 白色、y.: 黄色、br.: 褐色、gy.: 灰色、bk.: 黒色、r.: 赤色、p.: 桃色、gr.: 緑色、pr.: 紫色、2つの色の組み合わせは w.y.: 黄白色等を表す。

粒径: 5-10 mm は目立つ粒径、max 15 mm は最大粒径を表す。

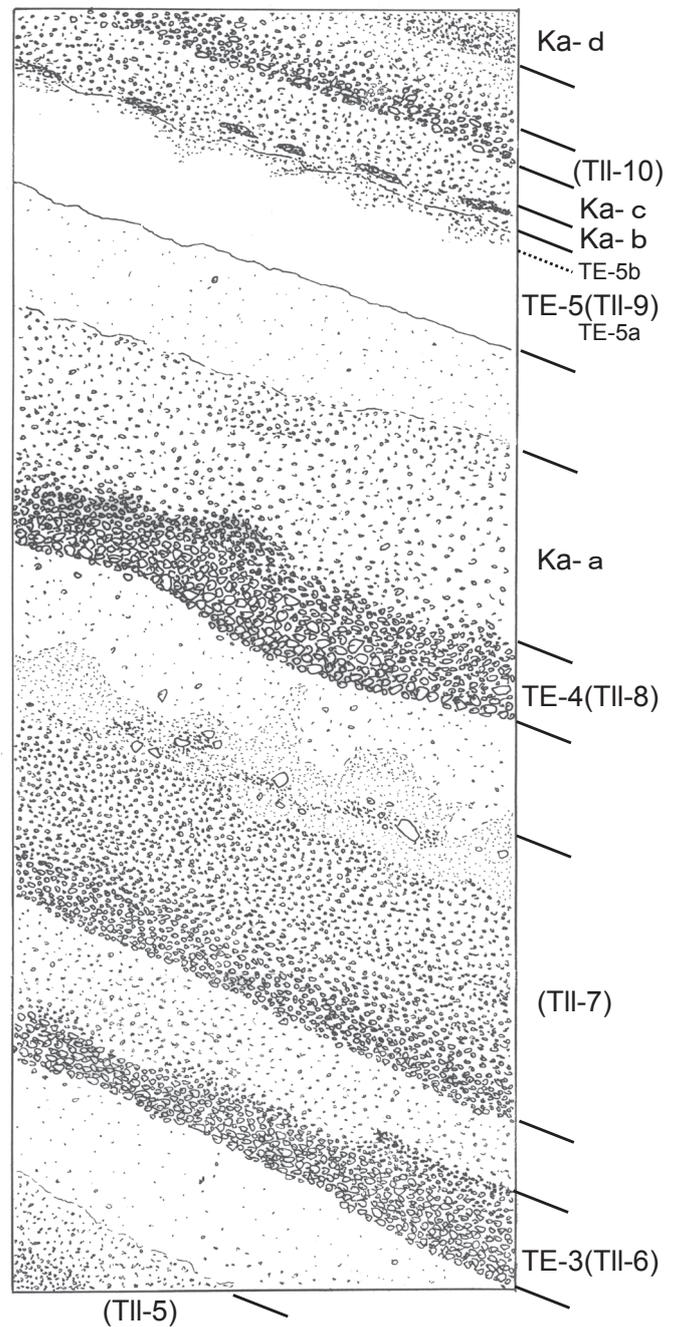


図 Ia-1-4. 剥ぎ取り標本の写真 (左) とスケッチ (右, 笠間・山下 (2008)).